



感性認知脳科学専攻

第55回 「こころ」の科学セミナー

第25回 プレミアム論文研究セミナー

パナソニック(株)先端研究本部における 生体情報活用研究の進め方

足立 信夫 先生

パナソニック株式会社 先端研究本部 インタラクティブAI研究部
知的ロボティクスシステム研究課 課長

1/17/2017
(Tuesday)
15:00～

総合研究棟D・1階・公開講義室

十年後の事業を支える商品のコア技術創出をミッションとする組織で、私は生体情報を指標に機器利用時のユーザの心理状態を測る仕事に取り組んできた。本講演では、企業において生体情報を活用した研究を進める際のポイントを紹介する。

- ・事業部門のリアル課題に目を向ける
- ・生体計測のコスト（センサ装着の煩わしさ等）と得られるメリットを整理し、コスト<メリットとなるよう課題を設定する
- ・実験室外でも使える生体情報を用いる
- ・実際に使えるかをフィールドでテストする（実験環境やユーザの厳密な統制ができない）
- ・社内外の専門家を巻き込み、スピードを上げる
- ・生体情報のみにこだわりすぎない